

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
東京都中央区京橋三丁目1番1号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社 ブリヂストン
代表取締役CEO 石橋 秀一

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社ブリヂストン 代表取締役CEO 石橋 秀一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋三丁目1番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ブリヂストン彦根工場					
事業所の所在地	滋賀県彦根市高宮町211番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	9	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車タイヤ・チューブ製造業
事業の概要	自動車タイヤ製造					
従業員の数	1643	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	15	台	熱源設備	-	台
	コンプレッサ	45	台	空気調和設備	1032	台
				照明設備	算出不能	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2030	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

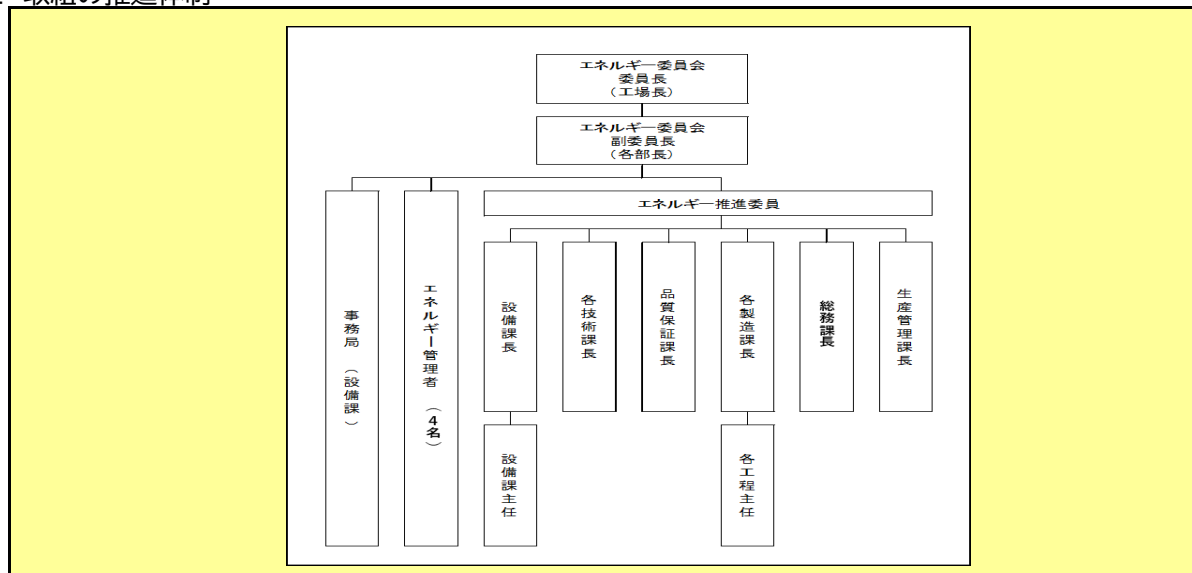
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

商品のライフサイクル、バリューチェーン全体を通じた削減促進に向けて、生産におけるCO₂排出削減にとどまらず、断トツの商品・断トツのサービスによるソリューションにより顧客価値を提供しながら、お客様の使用時、原材料調達、流通、再利用・リサイクルの過程におけるCO₂排出量削減に貢献

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・彦根工場において環境対応商品であるECOPIA等、低燃費タイヤを生産中
- ・RE100準拠のクリーンエネルギー調達
- ・廃棄物の売却による有効利用の拡大

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	大口工程の格付(大口工程とは、彦根工場でのエネルギー使用量の80%以上を占める上位工程を指す)	実施中	実施中
2	運用改善	工程毎削減目標の設定	実施中	実施中
3	運用改善	省エネルギー改善計画の作成と実施	実施中	実施中
4	運用改善	i-stop1000(※の計画と実施設備関連の省エネ活動を国内タイヤ10工場で各100施策、合計1000施策の積み	実施中	実施中
5	運用改善	全体原単位達成状況(1回/月)	実施中	実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	フロン排出抑制法に基づくフロン機器の簡易・定期点検の継続と補修、ノンフロン機器への更新継続	実施中	実施中
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
2023年度においては、エネルギー改善量原単位 ▲1%以上相当の省エネ改善の目標を設定。 エネルギー改善量原単位の定義 $(\text{エネルギー改善量原単位}) = (\text{エネルギー改善量} \times 1) / (\text{新ゴム生産量} \times 2)$ ※1 各工程でのエネルギー改善量の合計 (スチーム・エア漏れの補修等、省エネ活動をエネルギー量に換算) ※2 彦根工場での生産ゴム量	前年度比+0.6%[省エネ管理実施計画より]で目標を未達成。原因として、生産量減少に伴う原単位悪化に伴う。引き続き、各省エネ活動を展開することで目標達成の継続を目指す。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	47,994	55,511	48,900	50,502		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	87,976	####	86,186	88,600		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	87,976	####	86,186	88,600		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂	0	0	0	0		
N ₂ O	t-CO ₂	0	0	0	0		
HFCs	t-CO ₂	0.103	0.076	0.047	0.003		
PFCs	t-CO ₂	0	0	0	0		
SF ₆	t-CO ₂	0	0	0	0		
NF ₃	t-CO ₂	0	0	0	0		
エネルギー等原単位の推移		0.770	0.725	0.772	0.731		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	RE100準拠のクリーンエネルギー調達	実施中	実施中
2	自家発電(太陽光)設置推進	～2024年8月	2024年8月より稼働予定
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	-
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0	0		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	0		